

## 報 告 題 目

5月15日(土)個別報告/ミニシンポジウム

9:30~12:30

### \*ミニシンポジウム : 法と言語の交錯

司会・コーディネータ: 大河原眞美 (高崎経済大学)

- (1) 首藤佐智子 (東京大学) 「商標問題における類似性判断における言語学的分析の寄与」
- (2) 大河原眞美 (高崎経済大学) 「法領域における言語学の競合的側面」
- (3) 橋内武 (桃山学院大学) 「談話分析と言説分析」

### \*ミニシンポジウム : 司法制度改革の軌跡と展望

司会・コーディネータ: 宮澤節生 (大宮法科大学院大学)

- (1) 谷 勝宏 (同志社大学) 「司法制度改革の立法過程分析」
- (2) 山口二郎 (北海道大学) 「司法制度改革をめぐる制度設計の問題点 - 法曹人口増のインパクト」
- (3) 早野貴文 (弁護士) 「第二次司法制度改革への展望」

### \*ミニシンポジウム : 現代法理論と人権

司会・コーディネータ: 棚瀬孝雄 (京都大学)

- (1) 高橋和之 (東京大学) 「憲法学の立場から」
- (2) 北田暁大 (東京大学) 「社会学の立場から」
- (3) 三島憲一 (大阪大学) 「思想史の立場から」

### \*個別報告分科会A

司会・濱野亮 (立教大学)

- (1) 栗原真人 (香川大学) 「当事者対抗主義的刑事裁判の歴史的成立をめぐって」  
ディスカッサント: 福島至 (龍谷大学)
- (2) 上田竹志 (九州大学) 「裁判手続内における規範と時間の関係: 『行為規範と評価規範』概念を手がかりに」  
ディスカッサント: 太田勝造 (東京大学)
- (3) 酒井博行 (北海学園大学) 「民事訴訟の主張過程における弁護士の行為規範とその実効化」  
ディスカッサント: 濱野亮 (立教大学)

12:30~13:30

昼食

13:30~14:30

総会

**14:30~18:00**

**\*ミニシンポジウム：不動産競売法の法と経済分析**

司会・コーディネータ：久米良昭（那須大学）

- (1) 久米良昭（那須大学）「民法・民事執行法改正の経緯と法と経済学的分析」
- (2) 安念潤司（成蹊大学）「不動産競売法制の立法過程論と残された検討課題」
- (3) 井出多加子（成蹊大学）「不動産競売の実証分析」
- (4) 吉田修平（弁護士）「民法・民事執行法改正の解釈論的問題点と運用課題」
- (5) 田作朋雄（プライオクォーターハウス・パーソナライズド・バザール・サービス(株)）「不良債権処理及び企業・産業再生と不動産競売法制」

**\*ミニシンポジウム：知的障害者の地域生活トラブル**

司会・コーディネータ：佐藤彰一（法政大学）

- (1) 佐藤彰一（法政大学）「知的障害者の地域生活紛争とその解決」
- (2) 名川 勝（筑波大学）「知的障害者の地域生活支援の諸相」
- (3) 堀江まゆみ（白梅学園短期大学）「知的障害のある人の消費者被害と消費生活の支援  
生活支援ワーカー調査から」
- (4) 野沢和弘（毎日新聞）「知的障害者の地域生活と権利侵害について」

**\*ミニシンポジウム：『人体実験』と患者の人格権**

司会・コーディネータ：仲正昌樹（金沢大学）

- (1) 仲正昌樹（金沢大学）「人体実験とインフォームドコンセントの法理」
- (2) 打出喜義（金沢大学）「病院内部の視点から」
- (3) 仁木恒夫（大阪大学）「訴訟過程と訴訟外関係の交錯」
- (4) 安西明子（福岡大学）「『専門訴訟』の審理方式と争点形成の検討」

**\*個別報告分科会B**

司会：武士侯敦（福岡大学）

- (1) 菅富美枝（神戸大学）「「社交」としての自発的援助・支援行為  
- 選択的な絆を可能とする法理論構築のための一考察 -」

ディスカッサント：木下麻奈子（同志社大学）

- (2) 久保秀雄（京都大学）「<sup>ソーシャルビリティ</sup>社会的結合と「法の支配」

グローバル化時代における「ローカルな秩序構築現象への問い」をめぐる」

ディスカッサント：安田信之（名古屋大学）

- (3) 松澤広樹（東北大学）「山口自衛官合祀拒否訴訟の政治社会学的分析  
訴訟原告のアイデンティティの再構築と訴訟遂行」

ディスカッサント：馬場健一（神戸大学）

- (4) 畑 浩人（広島大学）「最高裁判所裁判官国民審査制度の活性化は可能か？」  
ディスカッサント：武士侯敦（福岡大学）

**5月16日(日)全体シンポジウム『死そして生の法社会学』**

**9:00~12:00**

**\*全体会『死そして生の法社会学』**

司会：北村隆憲（東海大学） 奥山甚一（東海大学）

趣旨説明：櫻村志郎（神戸大学）

報告：市野川容孝（東京大学）「西洋近代医学における死の定義 歴史的観点から」

報告：波平恵美子（お茶の水女子大学）「変貌する日本社会と法的環境」

報告：櫻村志郎（神戸大学）「法社会学の主題としての「死と生」

**12:00~13:00**

**昼食**

**13:00~16:55**

**\*第1分科会：『死と生にかかわる法と自己決定』**

司会：和田幹彦（法政大学）

報告：和田幹彦（法政大学）「遺伝子情報 21世紀の生と死をめぐる法・政策・生命倫理の新たな課題」

報告：岩橋健定（東京大学）「個人の遺伝子情報の保護」

報告：成澤光（法政大学）「遺伝看護に関わるE L S I」

**\*第2分科会：『死の儀礼と法』**

司会：北構太郎（札幌大学）

報告：南野佳代（京都女子大学）「個人の死と関係性 ケアするものとケアされるもの」

報告：森謙二（茨城キリスト教大学）「死と埋葬 祖先祭祀（祭祀条項）との関連で」

報告：嶋根克己（専修大学）「社会的行為としての死者の追悼」

**\*第3分科会：『死の社会定義と法』**

司会：仁木恒夫（大阪大学）

報告：澤井敦（慶應義塾大学）「社会的死と法」

報告：二木雄策（姫路獨協大学）「交通死」と法」

報告：川人博（弁護士）「過労死をめぐる」

**16:55~17:00**

**理事長挨拶**